

平成22年2月17日(水) 第6回レファレンス協同データベース事業フォーラム
実践報告(3)

現場における情報共有への取り組み

～レファ協は一石三鳥～

愛知学院大学図書館情報センター
LCO(株)ライブラリアナー 千晶理子

現場における情報共有への取り組み ～レファ協は一石三鳥～

1. 自館の特色
2. レファ協参加の経緯
3. レファ協データ登録の現状
4. 自館の課題
5. レファ協への期待

1. 自館の特色 ①

◆大学の特色

◎3キャンパス

・日進キャンパスの学部

文学部 心身科学部 商学部 法学部 経営学部
総合政策学部 教養部 留学生別科

・楠元、末盛キャンパスの学部など

歯学部 薬学部 歯科技工専門学校 短期大学部

・学生数 約13,000 教員数 約500

◎曹洞宗宗門

◎司書講習委嘱機関

1. 自館の特色 ②

◆愛知学院大学図書館情報センターの特色 (日進キャンパス)

◎全学部の専門性を包括した蔵書構成

◎多種多様なレファレンス内容

◎閲覧業務の業務委託化

☆サービスポイントの拡散

2. レファ協参加の経緯 ①

◆自館が抱えていた問題

- ◎ 館内で情報を共有しにくい
- ◎ レファレンスの引き継ぎがされない
- ◎ レファレンススキルの継承がしにくい




2. レファ協参加の経緯 ②

◆レファ協参加の目的

- ◎ 館内の情報共有
- ◎ 類似事例の活用
- ◎ レファレンス能力の向上

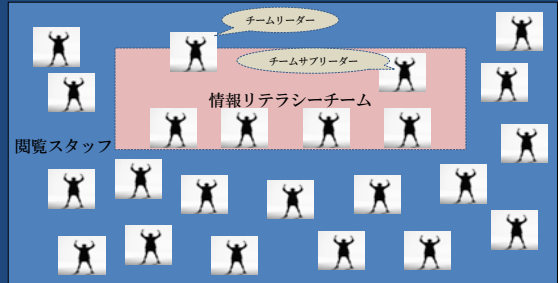
2. レファ協参加の経緯 ③

◆レファ協の一石三鳥とは？

-  レファレンス業務の効率アップ
-  行き詰まった時のレファ協頼み
-  他館の事例でお勉強

3. レファ協データ登録の現状 ①

◆データ登録に関わるメンバー



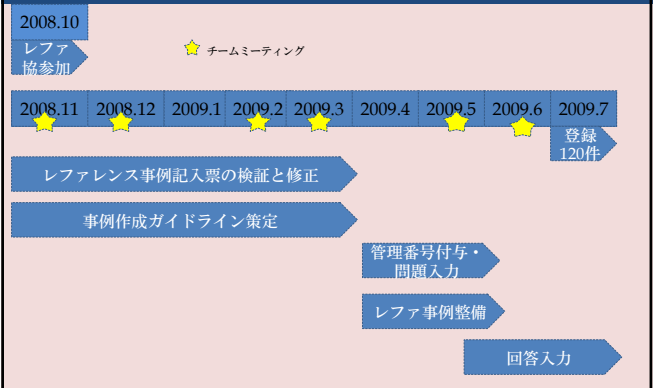
3. レファ協データ登録の現状 ②

◆スタート時点におけるデータ登録の流れ

- ① 既存のレファレンス事例記入票の検証と修正
事例作成ガイドライン策定 **チーム**
- ② レファレンス事例整備 **閲覧全体**
- ③ 管理番号付与
登録フォームへ問題を入力 **チームリーダー**
- ④ 回答を登録フォームへ入力 **チーム**

3. レファ協データ登録の現状 ③

◆データ登録120件まで



3. レファ協データ登録の現状 ④

◆レファレンス事例記入票 作成者()

管理番号
公開レベル 自館のみ 参加館公開 一般公開
質問(問題)
回答
回答プロセス
事前調査事項
NDC
参考資料
キーワード
照合先
事例作成日 _____年 _____月 _____日
状況 解決 / 未解決
調査種別 文献調査 事実調査 書誌的事項調査 所蔵調査 利用案内 その他
内容種別 郷土 人物 言葉 地名
質問者区分 教員 職員 院生 学生 開放講座 一般 その他
備考

3. レファ協データ登録の現状 ⑤

◆オリジナルなガイドラインの策定

- ◎ チーム内で策定
- ◎ 事例記入票を使いながら、改訂を重ねる
- ◎ A4×6P
- ◎ レファ協参加の目的
- ◎ 登録事例の選択
- ◎ 作成時の留意点
- ◎ 記入票の項目別による注意点

3. レファ協データ登録の現状 ⑥

- ◆レファレンス事例登録までの流れ
- ① レファレンスの受付(カウンター担当)
- ↓
- ② レファレンスの回答(カウンター担当)
- ↓
- ③ レファレンスの記録(カウンター担当)
- ↓
- ④ レファレンス事例の整備(担当チームリーダー)
- ↓
- ⑤ レファ協への登録(担当チーム)

3. レファ協データ登録の現状 ⑦

- ◆レファ協参加で変化した点
- ◎困った時に事例を参考にできる
- ◎自学自習できる
- ◎質問に対する回答の品質が保てる
- ◎落ち着いた対応ができる
- ◎類似事例を参考にできる
- ◎同じ質問に対しての異なるプロセスが学べる
- ◎登録する工程で事例を再考できる

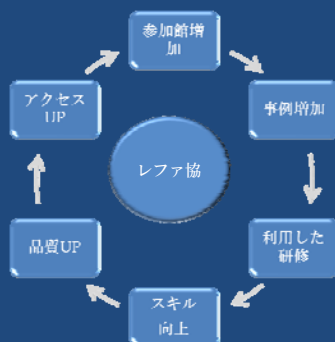
4. 自館の課題

- ◆レファレンス受付の場面で
コミュニケーションスキルの向上を図る
同じ質問に対して異なるプロセスの再探索
- ◆レファレンス記録の整理
品質をあげる
品質保持のための担当スタッフのスキルアップ
- ◆レファ事例の活用
レファ協の積極的な利用方法へ

5. レファ協への期待 ①

- ◎参加館の増加、事例の増加
- ◎事例に対しての評価
- ◎事例の品質管理(プロセス重視)
- ◎検索機能の充実
- ◎レファ協を利用した研修の実施

5. レファ協への期待 ②



ご静聴ありがとうございました